

くらし部通信2号



くらし部での話し合いをお知らせしていきたいと思ます。

子どもたちの様子

1ヶ月経ち、子どもたちも新しい学年、クラスに慣れてきた。今後は気がゆるみすぎないように、叱るところは叱り(何をしたら叱るかの基準は明確に。)、いいところはしっかりと誉め(具体的に、オーバーに)、ほどよい緊張感と安心感の中過ごすことが大切。

掃除について

そうじの様子について・・・

○そうじの手順や時間配分を明確にすることで、子どもたちは意欲的にそうじに取り組んでいる。

ただ、手順を示さないとなかなかそうじができない子が多い。

→最終的には子どもたちが主体的に考えてそうじできる姿を目指す。

○教師が子どもたちの様子を見て回る。(全教職員で)

できている児童を誉め、できていない児童への声かけ。

○トイレそうじについては水まきのみにならないようにする。水まきは金曜日のみ。

○だまってそうじなどの推奨

どうしてもそうじ中におしゃべりに夢中になってしまう児童がいるため、だまってそうじなど、学級の実態に応じてそうじの仕方についても検討していく。

熱中症対策

気温も最近上がってきているため、熱中症対策にも力を入れる。

- ・ 体育の授業、外遊びの時などにはマスクを外すよう指導する。
- ・ 暑い日、晴天時、外で活動する時には帽子を着用する。
- ・ 水分補給を小まめにできるように、お茶を多めに持ってくるように呼びかける。

いじめ対策について

いじめ等の子どもたちの困り感を見逃さないように日頃からアンテナを高くする。
もし、子どもや保護者から「いじめ」等についての相談や報告を受けた時・・・

- ① すぐに管理職もしくは生徒指導主任に連絡
- ② 対策委員会を早急に立ち上げる。
- ③ 対策委員会で検討し、対応方針を決定する。
- ④ 聴き取り等は児童の気持ちに寄り添い丁寧に行う。
※子どもたちのフォローやケアを十分にする。
- ⑤ 今後の再発防止に向けて、学級で丁寧に子どもたちに伝えていく。